

# 越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会  
会長 高野 淑 恵  
〒343-0021 越谷市大林235-9  
TEL・FAX 048-977-1908  
発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会  
理事長 村山 勇 治  
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂  
2-15-3 母子福祉会館内  
TEL 048-833-0444  
FAX 048-833-0400  
発行日 平成31年3月31日  
購読料 20円は会費に含む



## 『命は母(ぬち)だったから』……』 越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

平素よりご支援ご協力戴いております。無事に皆様へ厚く御礼申し上げます。無事に年度末を迎えることができました。新年度もよろしくお願ひ申し上げます。

春爛漫の日々になりましたが、今日は少し哀しい報道についてのお話です。

今月上旬のこと、板橋区で知的障害のある女の子が母親の手によつてわずか6歳の命を奪われました。母親は45歳、父親は48歳、3人家族でした。

「娘の障害が気になり、育児に日頃から悩んでいた、自分も死にたかった」と語った逮捕時の母親の顔は、無表情で、底知れぬ深い絶望だけがやつれた頬に刻まれていました。「助けて」と言える相手がいなかったのか、言つことができないほど心が凍っていたのでしょうか。

「深淵をのぞく時、深淵もまたおまえをのぞいている」というニーチェの言葉が思い浮かびました。娘の障害を認識した瞬間から、このお母さんの時間は止まり、ただひたすら真っ暗な深淵をのぞき込んでいたのだらうかと思ひます。

障害を持って生まれた子の親は、少なからず、この母親と同じ道を通ります。私も息子がもっと幼くて、毎日呆然と暮らしていた頃、毎日深淵をのぞき込んでいました。だからこのお母さんの不安

も絶望も悲しみもよく分かります。

子どもが幼ければ幼いほど、子どもの命は母親の掌の中に在ります。ほんの一瞬、心のバランスが崩れたら、その深淵に囚われ転落してしまふ、もうく危うい時期がありました。先に光が見えず、小さな命を握り潰してしまふ幻を何度も見ました。握り潰す瞬間の、自分の爪が掌に突き刺さる痛みや、その傷から流れるヌルリとした血の感触まで生々しく感じて、恐ろしい幻に震え、息子を抱いて泣いていました。

でも、掌の中で砕け散ったはずの小さな命はとても暖かく、哀しいほど懐かしく、恨みも憎しみもなく、優しい鼓動で私を呼び続けます。そうやっていつのまにか私を正気に戻してくれました。生も死もすべてを未熟な母親に委ねて眠る顔、目を覚まして私を見つけたときの笑顔は、私を深淵から引き戻し、不安に凍った心を溶かしてくれました。だから今、私は笑ったり泣いたり、人として母親として賑やかにいろいろな表情を持って生きていられるのだと思ひます。

知的に障害があつても、子どもは恐いほどひたむきに親を求めてきます。その思いを決して裏切つてはいけな

いのです。つらい、悲しい、どうしていいか分からない、その気持ちは痛いほど分かりますが、それは自分独りの気持ちであつて、子どもの心ではありません。自分だけの勝手な思いで子どもの未来を奪つてはいけません。我が子の命を我が手で奪つことは、どれほど事情や理由を並べても、決して許されることはありません。絶対にホツとなんかしません。魂が壊れ、生きている限り後悔に苛まれるのです。

障害があつてもなくても、生まれてくる命は奇跡であり宝です。「ぬちどうたから」「沖縄では「命は一人だけのものじゃない」と語り伝えていきます。

命はたくさん可能性を持っています。心の闇に囚われず、その可能性に光を見いだしてください。光は必ずあります。人は弱いものですが、光も闇も自分の内に在ります。どちらに傾くかは自分次第ですが、闇を抜け出したあとに見る光は、心が震えるほど嬉しい光です。

障害があつても幸せな人生を送ることはきっとできます。簡単なことではないかも知れませんが、簡単に諦めて良いことではありません。つらいときは、「助けて!」と言つ勇氣を持って、どうか子どもと一緒に生きてください。

# 千草園だより



平成も終わり、新たな時代を迎えようとしています。心機一転頑張つて行きましょう！

## 初詣 久伊豆神社



### 一年の健康を祈願して

一月四日(金)に仕事始めということで、恒例の初詣に出掛けて来ました。千草園から徒歩で移動、お正月で怠けた体を奮い立たせ片道二十分(往復四十分)の散歩でした。神社についてまずは、『参拝』。一人ひとり思い思いに神様をお願いしていました。その後は、メインイベント? 出店でのおやつタイムです。各自、お財布を握りしめ興味のあるお店の前を行ったり来たり、色々なお店が出ているので「何度も何度も慎重に見定める人」「直感で決める人」と様々でしたが、皆さん笑顔で食べたい物を買って物さされてい

ました。(もちろん、その場でペロリと平らげました。)

## 越谷市手をつなぐ育成会

### 成人を祝う会並びに新年会

一月十日(木)北越谷のギャザホールで「越谷市手をつなぐ育成会 成人を祝う会並びに新年会」が行われました。今年度は、千草園の『小島萌恵子さん』が成人を迎えられました。おめでとございます。会が始まる前は、少し緊張した面持ちでしたが、いざ始まると舞台の上で堂々とした振る舞いでした。

成人を祝う会の後は、会食の時間です。かしまつた雰囲気の中でも、毎年の経験が十分に活かされ、落ち着いて食事を楽しむことが出来るようになりました。最後のデザートとコーヒーマでしつかり食べきりました。また、両施設からお祝いの歌ということで、舞台での発表がありました。野の花、千草園とも、施設の特徴が出ていて

とても和やかなひと時を過ごすことが出来ました。



## 春の宿泊旅行 in 静岡県

三月十九日・二十日(火・水)の一泊二日で、静岡方面に宿泊旅行に出掛けて来ました。両日ともに、まさに旅行日和といった感じで、くつきりと見える富士山の裾野をグルッと巡ってきました。一日目は、「ヤクルト富士裾野工場」へ工場見学に行きました。おいしいジョアを飲みながら映画を見て、「ヤクルトの歴史」を学び、その後はジョアを作る工場へ見学に行き、ものすごいスピードで出来るジョアに釘付けでした。宿泊したホテルは、伊豆長岡温泉のホテル八景園。全室、そして展望露天風呂から富士山が眺め

られ最高のひと時でした。宴会でおいしい食事とカラオケで盛り上がりました。二日目は、「三津シーパラダイス」へ。アシカ、トド、イルカのショーを楽しみました。それぞれが好きなお土産を購入し、満足して帰りのバスに揺られ越谷に帰ってきました。(田中)



## 新職員の紹介

三月より、千草園で働くことになりました。  
『石川ありさ』です。どうぞ宜しくお願い致します。



# 野の花だより

立春も過ぎ、凍えるような寒さから一転、ぽかぽかと過ごしやすい陽気になってきました。今号では、一月から三月までの様子をお伝えいたします。

## 【1月】

### 【成人を祝う会(新年会)】

1月10日(木)にギャザホールにて、成人を祝う会ならびに新年会が行われました。今年も千草園から小島萌恵子さんが成人を迎えられました。

豪華な会食やくじ引き大会での景品に大いに盛り上がり、最後はみんなの演奏発表でお祝いをしました。



## 【通所日】

1月19日(土)の通所日にはカレー作りをしました。美味しいカレーが出来上がり、皆さん大満足の調理実習になりました。午後からは福笑い遊びをしたり、ジュースを買いに行ったりして楽しみました。

## 【2月】

### 【節分】

福のお面や鬼のお面の色塗りで豆まき準備開始。鬼役を引き受けてくれた利用者さんと福役の利用者さんで仲良く厄を払いました。

### 【買い物実習】

2月8日(金)にイオン川口前川店へ買い物実習に行きました。2グループに分かれ、レストランで昼食をとった後、予め決めていただいていた買いたいものを色や柄など利用者さんを選んでいただき購入しました。その後ジュースを買い、ゆつくり過ごしました。

## 【通所日】

2月23日(土)の通所日では、

具沢山味噌汁とポテトサラダを作り、デリカやまとのヒレカツを添えてボリューム満点の昼食になりました。午後からは2チームに分かれ、卓球バレーやゴールキック等得点を競い、大いに盛り上がりました。

## 【3月】

### 【宿泊旅行】

3月7日(木)から8日(金)に茨城の日立市方面へ一泊旅行に行きました。

一日目は川魚の霞ヶ浦市水族館に行きました。その後、雨が止んできたので、海沿いの土手を少し散歩しました。

水の科学館では水にまつわる体験型の展示があり、楽しく水のことを学びました。

旅館は『鵜の岬』。温泉で一日の疲れを癒しました。利用者さんが楽しみにしていた夕食では、エビチリやすき焼き等の豪華な品々に大満足な様子でした。

翌日は晴天。朝食では窓から水平線を眺めながらバイキングを楽しみました。

二日目はかみね動物公園へ行きました。園内に響きわたる百獣の王ライオンの遠吠えに驚きを隠せない利用者さんもいました。昼食会場の海鮮レストランでは好みのメニューを食べ、笑顔いっぱい宿泊旅行でした。



### 【お疲れ様会】

昼食は皆で『とんでん』に行き、美味しい料理を食べました。午後はカラオケグループとボーリンググループに分かれ、一年の疲れを吹き飛ばすように思いっきり楽しみました。

## 【山田】



# 会計報告

## 《賛助会費》

5口 5,000円

## 《売上金》

わかめ 12,500円

ごま 5,250円

お茶 16,200円

うどん等 6,300円

ご支援ありがとうございます  
オ

◇◆ 賛助会員紹介 ◇



小野田 洋 様



◇◇ 編集後記 ◇◇

みんなを照らす太陽も / たまには  
休んで / 月にもなりたいと / 思う時  
もあるはずだと / 分かる人で あり  
たい

幼くして筋ジストロフィーを患  
い、闘病を続ける岩崎 航さんの言葉  
です。

壮絶な苦しみの毎日であっても、なお  
自分を支えてくれる家族らの頑張り  
に  
感謝し、気遣う魂の気高さにこころ  
打たれます。

今後の予定  
6月2日(日)  
ふれあいの日

6月20日(木)  
総会  
中央市民会館  
13・14会議室